

キャンペーン事例について

英国の〈教育〉は素晴らしい！と上流から叫んでも誰にも届かない。
つまり 20 世紀には戻れない。
英国は思索します、新しい発想や 媒体を駆使した効果的な方法を。
その一挙一動は世界中から見られている。ブランド性はいつも試されている。

キャンペーン

現在、マルチマーケット向けと各国別のキャンペーンの継続的なプログラムが開発され、PMI2 のマーケティング活動の一環として展開されています。これらのキャンペーンの目的は、いずれも話題性がありメディアに好意的に受け止められるアイデアを具体化すること。直接のターゲットは学生ですが、親・雇用者・機関といった他の対象層とも関連していることは明らかです。

キャンペーンは、〈雇用の可能性〉〈イノベーション〉〈言語〉〈価値〉というテーマに加え、各教育部門を網羅するよう組み立てられています。事例を挙げると「英語力向上キャンペーン (Let your English grow)」は言語をテーマにしたマルチマーケット向けのキャンペーンであり、「ザ・チャレンジ (The Challenge)」は〈雇用の可能性〉〈価値〉〈イノベーション〉といったテーマを支える、世界規模での課題中心型コンテストです。また国際学生賞である「シャイン！ (Shine!)」とビデオ日記キャンペーンである「プロジェクターヘッズ (Projectorheads)」は、すでに英国で勉強している学生を対象とし、〈価値〉を重要なテーマとしています。

さらに、1年間の教育フェスティバルである「経験 (Experience)」フェスティバルが、2009 年に中国で開催される予定で、これは Education UK があらゆる側面で、世界トップレベルの品質を提供できるブランドであることを伝える目的です。各キャンペーンは他のマーケティング活動を補完する形で計画されているため、一貫性のあるパワフルで総合的な情報伝達が可能になります。

英語力向上キャンペーン

英国での英語学習機会、その理解を深めるために、ブリティッシュ・カウンシルが English UK と連携して実施したものの。PMI2 で戦略的に重要として選ばれた多くの国で 2 年間に渡って展開されました。

このキャンペーンは、English UK を通じて民間の英語学習部門が提供する総額 25 万ポンドの奨学金をベースに計画されました。キャンペーンの核となったのはコンテストで、入賞者には奨学金が贈られました。関連するマーケットでは大規模な宣伝活動が行われ、メディアに大きく取り上げられた結果、2 年間で 2 万 1,000 人がコンテストに参加しました。また、参加者の生の声は、結果的に貴重な情報ソースとなり、ブリティッシュ・カウンシル、English UK、各英語学校にとって、将来のマーケティングや英国での英語学習機会の促進を考える上で、非常に価値あるものとなりました。

シャイン！－国際学生賞

「シャイン！国際学生賞」は、英国で学ぶ外国人学生を対象とするキャンペーンであり、彼らが英国にもたらす優れた業績と貢献を称えるものです。

この賞は留学生の学業成績だけでなく、英国での生活と学習において、キャンパスの枠にとらわれず、どんな経験を積み発展を遂げたかも重視しています。2002年の創設以来の5年間に、数百にのぼる英国の組織・団体からサポートを受けており、英国での学生生活の何千もの事例をダイレクトに伝える役割を果たしています。2008年の受賞者はマレーシア出身のステファニー・シュー・ジーン・チュー（Stephenie Siew Jean Tiew）でした。彼女は以前の「シャイン！」受賞者たちに刺激を受けて懸命に活動し、自身の医学学位を超えた経験を追求しました。マンチェスター大学に在籍しながら、ステファニーは名誉ある王立小児保健協会（Royal College of Paediatrics and Child Health）学生賞を受賞。討論チームに積極的に参加し、医学部会報にも定期的に寄稿しました。さらに大学外で友人と一緒に設立した「乳児救命協力会（Save a Baby's Life Society）」では、地域社会で親や保護者に基本的な救命技術を教え、このグループの活動を支えるための募金イベントを企画しました。この一連のアクションは、コンテスト応募に際して彼女が書いた英国での経験のほんの一部にすぎません。彼女は受賞の際のコメントとして、「本当に、人生観が変わり自信ができました。本気で努力すれば不可能なことはないという気持ちです。学生にコンテストへぜひ参加するよう勧めます」と発言しました。